



検査のとびら



作成 2023年7月 検査室

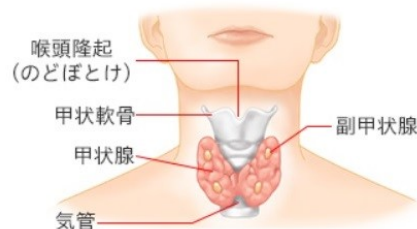
発行 検査室・医療安全管理室

甲状腺の検査

甲状腺とそのはたらき

甲状腺は、のどぼとけから親指2本分くらい下の位置に、蝶が羽を広げたような形で気管を抱くようにあります。重さは約10~15gと小さく、とても柔らかい臓器です。

甲状腺のはたらきは、食べ物に含まれるヨウ素を材料に甲状腺ホルモンをつくり、分泌していることです。甲状腺ホルモンは、全身の細胞の新陳代謝を活発にするはたらき、骨や神経・精神状態にも関わり、子どもの成長や発育を促進するはたらきなど、生きていく上で欠かすことができないホルモンです。



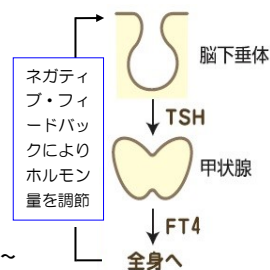
甲状腺の病気

甲状腺の病気は大きく3つ分けられます

1. 甲状腺機能の異常
ホルモン分泌の異常に伴うもの
2. 甲状腺の炎症
甲状腺が炎症を起こすもの
3. 甲状腺腫瘍
8~9割は良性の腫瘍

甲状腺ホルモンの調節

甲状腺ホルモン(FT4, FT3)は、不足すると脳下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン(TSH)の刺激を受け、甲状腺で作られ分泌します。また、FT3, FT4が増えすぎるとTSHの分泌が抑えられ、常に適正に保たれています。



異常に気付くきっかけは？

甲状腺は、正常な時には外から触ってもわかりにくいですが、腫れたり、痛みやしこりができると異常に気付くことがあります。

また、右のような症状がみられた時には、機能異常の可能性もあるので受診して医師に相談しましょう。

Point!



甲状腺の検査

主に血液検査と超音波検査を行います。

血液検査

甲状腺ホルモンのはたきをみるために、TSH、FT4、FT3を同時に測定し判断します。その後詳細を追加検査します。

超音波検査

甲状腺の腫れの様子やしこりの形状を観察します。



検査では肝機能異常が無いのに、ALP↑、TC、TG↓なら亢進症？を、CK↑↑でTC、TG↑、TP-Alb>4なら低下症？橋本病？と考え甲状腺データを確認します



甲状腺に異常があると、どんな症状でなの？

ホルモンが多すぎるとき

- ・汗が多い
- ・暑さに弱い
- ・手が震える
- ・疲れやすい
- ・動悸がする
- ・よく食べるのにやせる
- ・下痢をしやすい
- ・イライラする
- ・子供の場合、急に身長が伸びる

新陳代謝が高い状態



ホルモンが少なすぎるとき

- ・寒がり
- ・髪の毛が抜ける
- ・顔や手がむくむ
- ・便秘・生理が多い
- ・皮膚がかさかさする
- ・あまり食べないのに太る
- ・いつも眠気を感じる

子供の場合、発育が悪くなる

新陳代謝が悪い状態



甲状腺ホルモンに異常があるときの検査データの特徴

	甲状腺機能亢進症	甲状腺機能低下症
甲状腺の検査	TSH ↓、FT4 ↑、FT3 ↑	TSH ↑、FT4 ↓、FT3 ↓
生化学ほか	ALP、Ca、IP ↑、TC、TG ↓傾向	CK ↑、TC、TG ↑傾向、赤沈亢進、γグロブリンの増加、心肥大など

問合せ先：検査室 佐藤まで